別紙1

補助金・交付金 チェックシート（No.１）

補助金名（交付金名）	スポーツ合宿誘致補助金	開始年度	平成２１年度

団体名	市内でスポーツ合宿を行う団体

助成の根拠規定等（条例・規則・要綱等）	函館市補助金等交付規則，函館市スポーツ振興事業取扱要綱

○補助事業の内容および目的・効果

内容	市内でスポーツ合宿を行う団体に対し，合宿に要する経費の一部を補助する。 （延べ宿泊人数１人あたり千円を補助し，限度額は１００千円） ※延べ宿泊人数＝合宿参加人数×宿泊日数
目的・効果	（目　的） 函館市におけるスポーツ合宿の誘致を推進し，もって本市のスポーツの振興を図るため，函館市スポーツ振興基金事業の一つとして，スポーツ合宿誘致推進事業を実施している。
	（効　果） 合宿団体と市内の競技団体等との交流試合や講習会等の交流事業が行われ，地域スポーツの振興・発展および競技力の向上が図られるほか，合宿団体が市内の宿泊施設を利用することなどにより，地域経済の活性化に寄与している。

○補助事業の収支状況

（単位：千円）

	年度	助成金 市	助成金 その他	団体負担分				計
収入	26	1,603		21,934				23,537
	27	2,952		47,167				50,119
	28	3,447		36,133				39,580
	29	2,844		29,276				32,120
	30	2,946		30,252				33,198
支出	年度	事業費						計
	26	23,537						23,537
	27	50,119						50,119
	28	39,580						39,580
	29	32,120						32,120
	30	33,198						33,198

別紙2

補助金・交付金 チェックシート（№.２）

補助金名（交付金名）	スポーツ合宿誘致補助金

○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性（明確な公益性があるか） ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☑ ☑ ☑	□ □ □	市内におけるスポーツ合宿の誘致を推進し，本市のスポーツの振興を図るため，市内で合宿を行う団体に経費の一部を補助する制度であり，地域スポーツの振興・発展および競技力の向上に寄与している。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☑	□	合宿誘致は，市の施策の一つとして位置付けられており，本市スポーツの振興を図るうえで補助する必要がある。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☑	□	合宿誘致への補助は，合宿団体における参加人数と宿泊日数に応じて，経費の一部を補助する事業であり，対象団体に自主性を求めることはなじまない。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが，施策目的実現に最適か）	☑	□	合宿団体の利便性等を考慮すると，市が直接補助することが妥当である。

※適・不適であっても，説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は，前年踏襲となっていないか	□	
2	補助金等の使途は適切である	□	
3	積算基準は定められている	□	
4	補助割合は，補助対象経費の１／２以内である	□	
5	前年度繰越金は生じていないか	□	
6	自主財源の確保に努めている（最低でも前年度の収入を確保しているか）	□	
7	経常経費の節減に努めているか	□	

※不適の場合は，説明欄に必ず記載してください。

別紙3

補助金・交付金 チェックシート（No.３）

補助金名（交付金名）	スポーツ合宿誘致補助金

○補助効果の検証

（効果測定方法，具体的な数値等）

実績報告により，市内団体との交流事業を確認するほか，団体数，宿泊人数（延べ人数）により，効果を測定する。

（達成状況）

全ての補助団体が，市内学校等との交流試合を行うなど，地域スポーツの振興に効果があった。

（合宿誘致補助実績）

平成２５年度　１２団体（延べ１，１１０人）
平成２６年度　１８団体（延べ２，３６９人）
平成２７年度　３５団体（延べ４，１６３人）
平成２８年度　４６団体（延べ４，２９２人）
平成２９年度　３６団体（延べ３，２９７人）
平成３０年度　４０団体（延べ３，２９３人）

※継続事業は，直近の実績　新規事業は，効果のみ記載してください。

（評　価）		（理　由）
十分効果をあげている	☑	
一定の効果をあげている	□	
効果が疑問である	□	
その他	□	

○今後の方向性

☑	現行のまま補助を継続	
□	見直したうえで補助を継続	（見直しの内容） （見直しの時期）
□	廃止	（廃止の理由） （廃止の時期）
□	その他	（その他の内容）

○終期の設定

終期設定				次回チェック年度（予定）
令和３年度	→	□	終期到来により廃止	→	次回チェック年度（予定）
		☑	終期到来時に再検討		令和３年度